

- 問1 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。 | 2. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。 | 3. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。 | 4. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。 |
|---|--|--|--|
- 問2 約1万以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた | 2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた | 3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した | 4. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問3 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 銅鐸 | 2. 石包丁 | 3. 埴輪 | 4. 土偶 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問4 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 | 2. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 3. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 4. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 |
|---|---|---|--|
- 問5 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 2. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 3. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 4. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 |
|---|---|--|--|
- 問6 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された | 2. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた | 3. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった | 4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問7 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 2. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 4. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 |
|--|--|--|---|
- 問8 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった | 2. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した | 3. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった | 4. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった |
|--|--|---|---|
- 問9 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため | 2. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 3. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 4. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため |
|--|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
- 問10 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 縄文時代 | 2. 旧石器時代 | 3. 弥生時代 | 4. 古墳時代 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問11 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため | 2. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 3. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため | 4. 大規模な稲作を行うための、種ちみを長期間保管するため |
|-------------------------------|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|
- 問12 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができる。 | 2. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。 | 3. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。 | 4. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石を みがいた磨製石器や土器が使われ始めた。	約1万年前に氷河期が終わり気候が温暖になると、日本の植林や動物の生態が変化し、人々は定住生活を営むようになりました。この時期に登場したのが、より精巧な磨製石器や、食料の調理・保存に欠かせない土器です。打製石器は旧石器時代から継続して使われましたが、磨製石器の普及は縄文時代の大きな技術的特徴です。
問2	答え 2 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環 境に合わせた定住生活が行われた	縄文時代は、氷河期が終わり温暖になった環境に適応した時代です。すばしっこい小動物を狩るための弓矢や、木の実を加工するための磨製石器、そして食料の加工・保存を可能にした土器など、新しい道具が登場したことで、一定の場所に留まって暮らす定住生活が可能になりました。
問3	答え 4 土偶	縄文時代につくられた素焼きの人形は土偶と呼ばれます。豊かな収穫や魔除けなどを祈る道具として用いられました。古墳時代につくられた埴輪や、弥生時代につくられた銅鐸との違いを押さえることが大切です。
問4	答え 4 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力に よる解決や生命力の向上を祈る必要があった ため。	縄文時代は自然の産物に依存した生活を送っていたため、気候変動による食料不足や病気は死に直結する大きな脅威でした。科学的な知識が限られていた当時、人々は「祈り」を通じてこれらの問題を解決しようとしていました。そのため、女性の生命力を象徴する土偶などを通じて、食物が豊かになること（豊穡）や、部族の繁栄を願う呪術が発達したと考えられています。
問5	答え 4 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないの ために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の 主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた 。	土偶と埴輪はどちらも人型の土製品ですが、時代と役割が大きく異なります。土偶は縄文時代の狩猟・採集社会において、生命の誕生や自然の恵みを祈る宗教的な道具として機能しました。一方、埴輪は古墳時代に現れ、王や有力者の墓である古墳を飾り、その聖域を守る役割や、葬送の儀礼のために立て並べられました。
問6	答え 2 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日 本列島は現在の姿に近づいた	約1万年前に氷期が終わり、地球全体の気候が温暖化しました。その結果、大陸の氷河が溶けて海面が上昇し、それまでユーラシア大陸と地続きだった部分が海に沈んだことで、日本列島は現在のような島国の姿になりました。この環境の変化が縄文時代の始まりに大きく寄与しています。
問7	答え 2 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うた めの、呪術的な道具として使われた。	縄文時代の人々は、自然界のあらゆるものに靈魂が宿ると考えるアニミズムの信仰を持っていました。土偶はその信仰に基づき、女性をかたどることで生命の誕生や食物の豊穡を祈ったり、体の一部をわざと壊すことで身代わりとして病気の治癒を祈ったりする目的で作られました。古墳時代に作られた「はにわ」や、弥生時代以降の貯蔵用土器とは、製作された時代も目的も異なります。
問8	答え 1 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、 ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなど が豊富になった	温暖な気候への変化により、日本列島にはブナやナラなどの落葉広葉樹や照葉樹の森が広がりました。これにより、人々の重要な食料となるクリやドングリなどの木の実が採れるようになり、またこれらの森をすみかとするシカやイノシシといった中小動物が増加したことで、狩猟・採集を基盤とする縄文文化が発達しました。
問9	答え 2 床を地面より低くすることで、室内の温度を 一定に保ちやすくするため	竪穴住居は地面を掘り下げること、外気の影響を受けにくくし、冬の防寒対策としての機能を備えていました。住居の中央には「炉（ろ）」が作られ、暖房や調理に使われていました。選択肢にある「床を高くして湿気を防ぐ」構造は高床倉庫の特徴であり、穀物の保存を目的としたものです。
問10	答え 1 縄文時代	氷河期が終わり、気候が温暖になったことで、日本列島では弓矢を用いた狩猟や豊かな海産物をとる漁労、木の実の採集が盛んになりました。この時代に使用された、表面に縄目の文様がある土器は「縄文土器」と呼ばれ、食料を煮炊きしたり保存したりするために活用されました。
問11	答え 2 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存した りするため	縄文時代、人々は定住生活を送る中で、採集した木の実や捕らえた獲物を調理する必要がありました。土器の出現によって、食料を「煮る」ことが可能になり、それまで食べられなかった硬い食材が食べられるようになったほか、食料の保存性も高まりました。
問12	答え 1 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆 積しているため、当時の人々の食生活や利用 していた道具の種類の種類を具体的に知るこ とができるから。	貝塚は単なる「ゴミ捨て場」ではなく、何層にもわたって当時の生活の痕跡が積み重なったタイムカプセルのような役割を果たしています。出土する骨の種類から、季節ごとの狩猟・採集活動の様子を分析することができ、縄文時代の人々が自然のサイクルに合わせて豊かに暮らしていた背景を裏付ける資料となっています。